

4.4 「かやぶきの里」北集落前の整備

【基本方針】美山の観光拠点の一つである「かやぶきの里」北集落前において、魚類等の生息に配慮しつつ、周辺景観とも調和のとれた河川整備を行い、川とのふれあいの場を創出する。

整備にあたっては、

- ・隣接する駐車場や対岸からの歩行動線の確保
→階段工、低水護岸（遊歩道）、飛び石の設置
- ・周辺景観との調和
→既設コンクリート護岸の自然石による修景
- ・水衝部対策
→自然石による水制工の設置
- ・魚類等の生息
→自然石による根固工の設置
- ・治水安全度の確保
→左岸側の一部掘削

などを基本としつつ、美山川にふれあい、その魅力を感じ、さらに地域振興により一層の拠点となるよう、今後、ワークショップ等により地元をはじめ多くの人々の意見を十分聴きながら計画づくりを行い、整備を進めていく。

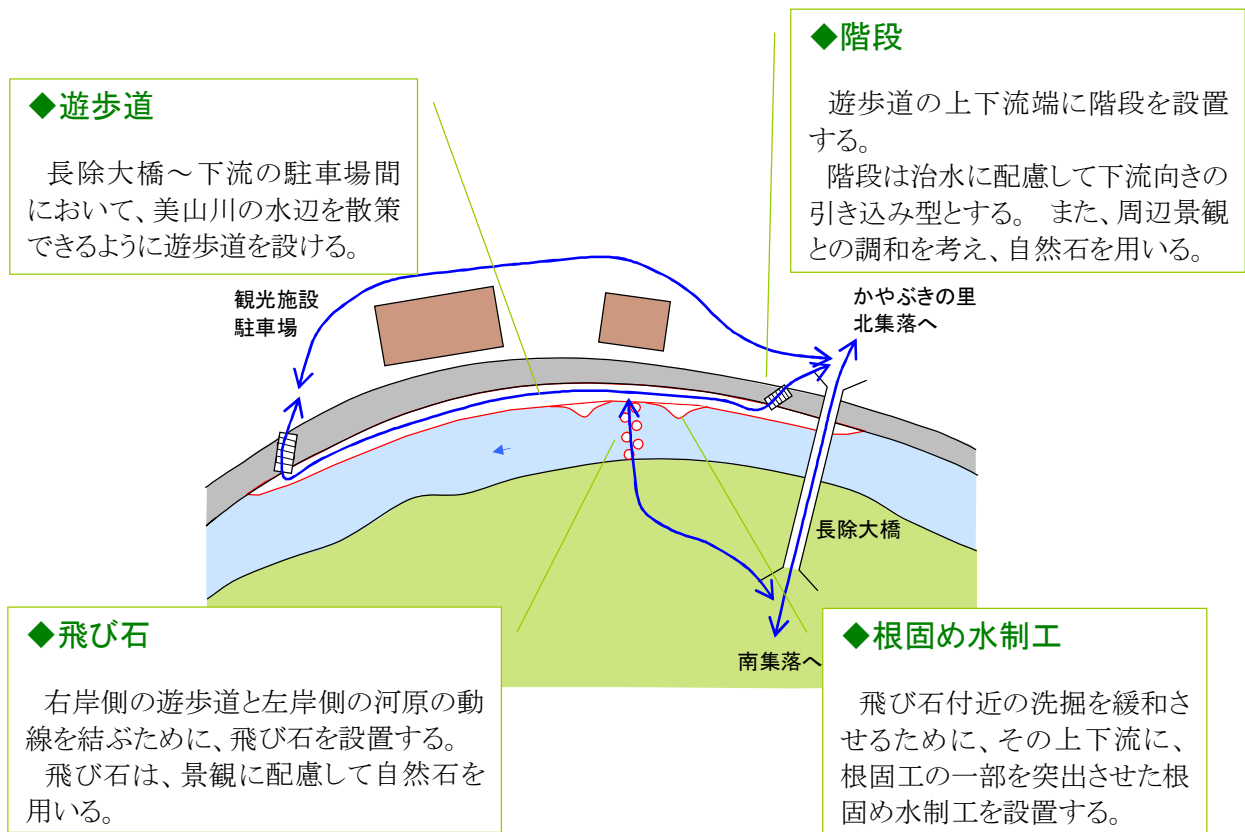


図 4.4.1 北集落前の平面計画（案）

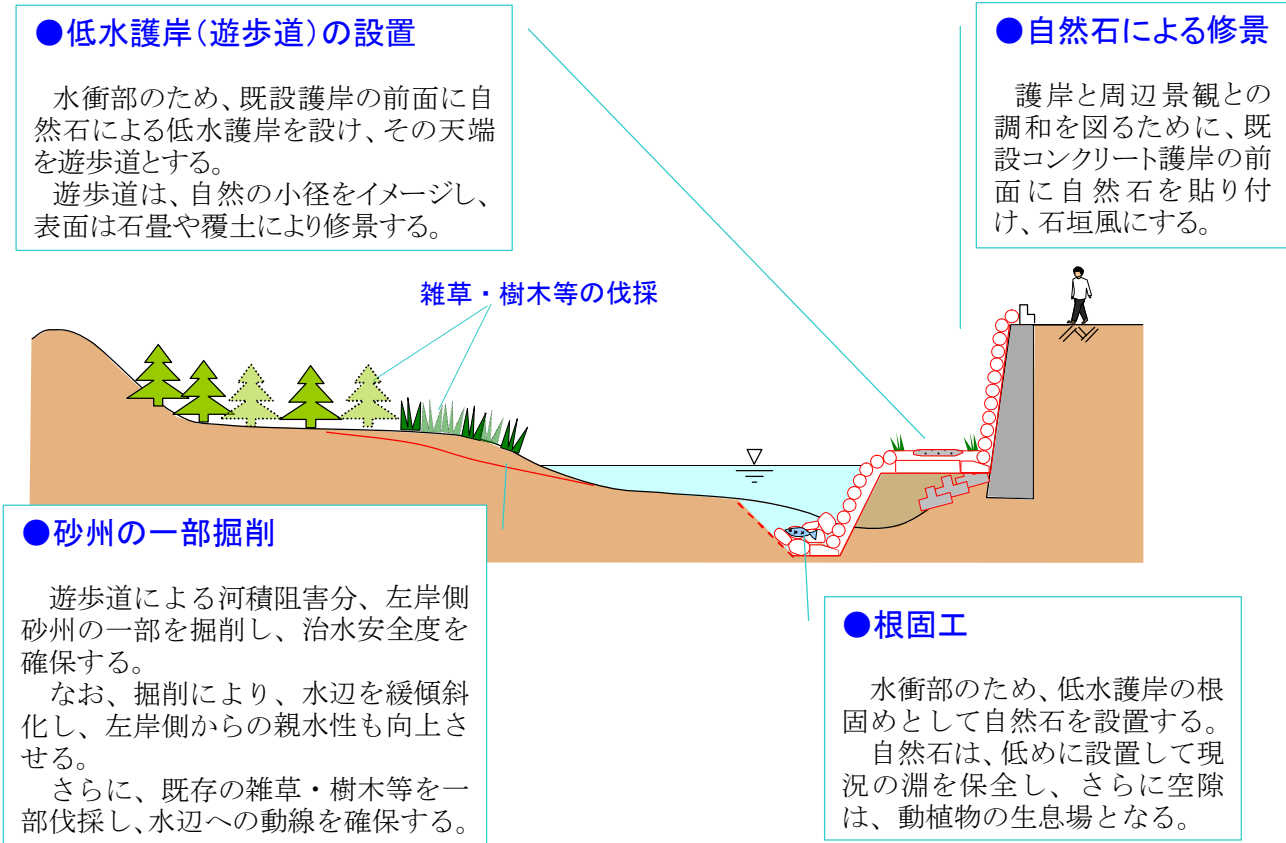
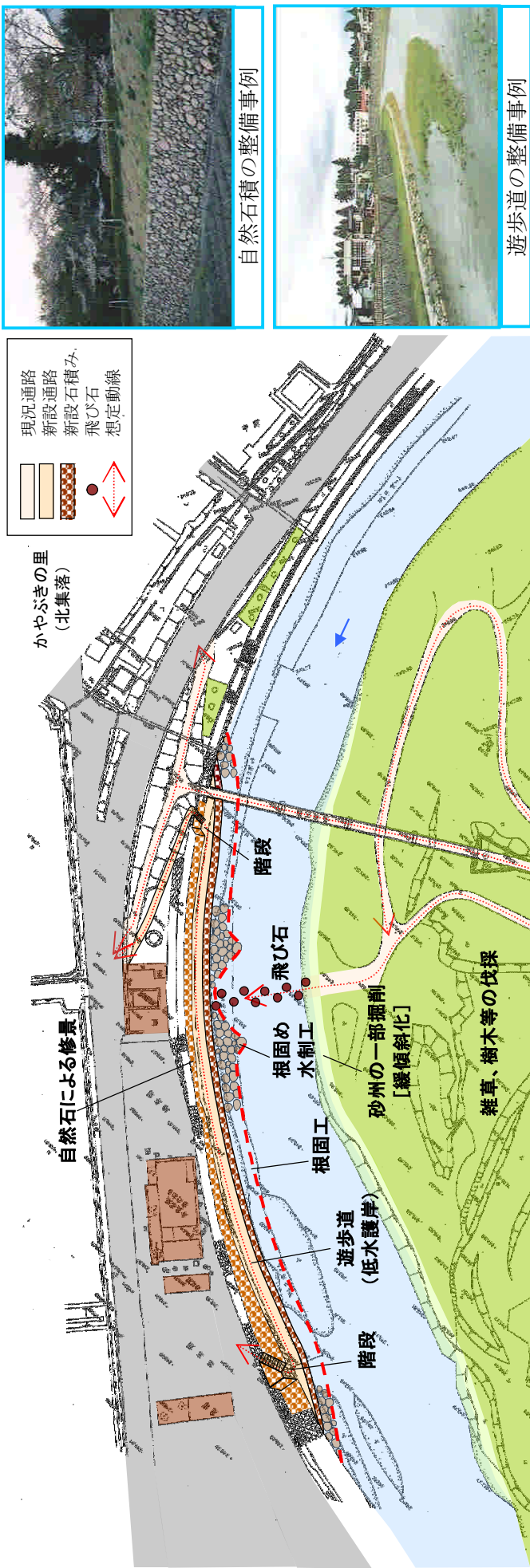


図 4.4.2 北集落前の横断計画 (案)



自然石積の整備事例



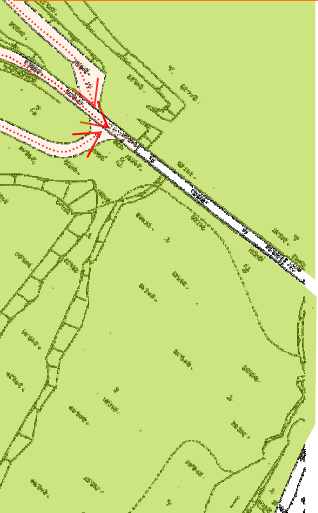
遊歩道の整備事例



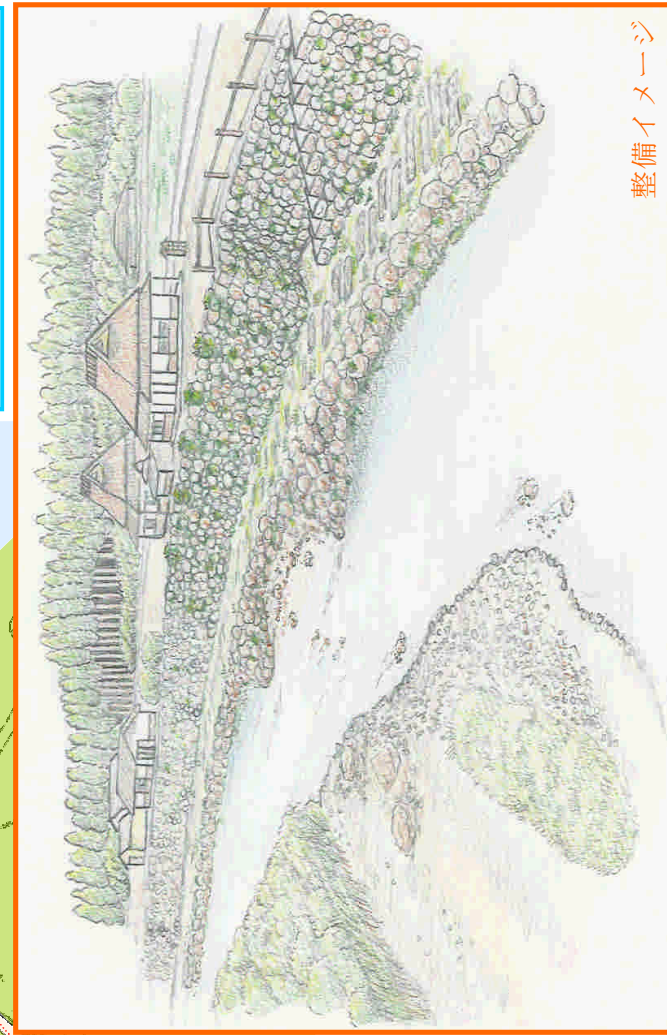
階段の整備事例



飛び石の整備事例



自然石による根固工の整備事例



整備イメージ

本ベースは「美山川・やすらぎの川づくり検討委員会」の素案として提示したものであり、具体的な整備内容は、今後地元の意見を十分に聴きながら検討する。

図 4.4.3 親水整備計画 (案)